

▽発信元・お問い合わせ先はこちら
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を迫及する」
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644
E mail:info@hb-consulting.jp

派遣労働者2年連続マイナス 「請負」「期間」活用にシフト

厚生労働省が発表した2010年度の労働者派遣事業報告書の集計結果(速報)によると、派遣労働者数は前年度比11.6%減の延べ約267万人となり、2年連続で減少した。

製造業派遣や登録型派遣の原則禁止などの規制強化策を盛り込んだ労働者派遣法の改正案が、国会で継続審議中。このため厚労省は「企業が派遣という雇用形態を敬遠し、請負や直接雇用の期間労働者の活用にシフトしているのではないかと、減少の理由を分析している。

仕事がある時だけ雇用契約を結ぶ登録型派遣の労働者数は延べ約175万人で15.1%減少。派遣会社が正社員などとして雇用し、長期間働く常時雇用労働者は4.1%減の約92万人だった。また10年6月1日時点で、製造業で働いていた派遣労働者数は前年同期比9.4%減の約22万人。

企業のコスト削減などを背景に、派遣労働で働く人はこれまで増加を続け、08年度には延べ約400万人に拡大。しかし、リーマン・ショック後の派遣切りの影響を受け、09年度は延べ約302万人に減少していた。

平成 23 年 9 月 20 日 Sankei Biz